

- 11) 竹中彰治: 認知症に対応し在宅医療を支援する誤嚥性肺炎の発症リスクを感知する科学的評価法の開発. なな一訪問看護研究助成. 2023-2024.
- 12) 外園真規: 免疫細胞を含む新規歯肉上皮モデルを用いた, 宿主免疫機構とデンタルバイオフィーム細菌叢の相互作用の解明. 公益財団法人 MSD 生命科学財団 感染症領域 研究助成. 2023

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 1. 野杵由一郎, 新潟大学歯学部 卒前臨床教育におけるう蝕予防管理システムの実践: ACFF 日本支部 e-learning 研修会, 東京, 2023.12.10.

【講演会発表】

- 1) 野杵由一郎, 口腔ピロリ菌感染の機序と現状: 第 20 回大分大学グローバル研究センター研究セミナー, 大分市, 2023.11.22.
- 2) 野杵由一郎, 変遷が進むう蝕治療と AI 時代の歯内療法: 2023 年度 徳島大学歯学部同窓会北陸支部特別講演会, 2023.10.15.
- 3) 野杵由一郎, 変遷が進むう蝕治療と AI 時代の歯内療法: 2023 年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会, 新潟市, 2023.04.23.

【学会発表】

- 1) Kornsobut Niraya, Shoji Takenaka, Manuschai Jutharat, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri. Antibiofilm effect of dental coating materials to reduce and prevent enamel demineralization. The 2nd General meeting of the Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry Conference (ConsAsia 2023), Taipei, Taiwan, September 1, 2023.
- 2) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 再生歯内療法後の治癒過程初期における各種間葉系幹細胞マーカー陽性細胞の局在性, 日本歯科保存学会 2023 年度秋季大会 (第 159 回), 浜松, 2023 年 11 月 11 日~11 月 12 日, 2023 年度秋季大会 (第 159 回) プログラムおよび講演抄録集: 47 頁, 2023.
- 3) 佐藤莉沙子, 竹中彰治, 野杵由一郎: 上顎両側中切歯歯冠修復物の審美的不満に対し保存的なブラックトライアングル閉鎖により改善を認めた 1 症例. 第 59 回日本歯科保存学会 2023 年秋季学術大会, 浜松, 2023 年 11 月 11 日, 特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 159 回: 83 頁, 2023.
- 4) 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, Susan Gomez Kasimoto, 井田貴子,

枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 歯根形成時における Tissue nonspecific alkaline phosphatase の機能解析. 日本歯科保存学会 2023 年度秋季学術大会 (第 159 回), 浜松, 2023 年 11 月 11, 12 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集: 92 頁, 2023.

- 5) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉 巧, 寺尾 豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の検索. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16~18 日, 同学術大会プログラム集: P1-2-21, 2023.
- 6) 高橋竜平, 外園真規, 井田貴子, 永田量子, Niraya Kornsobut, 齋藤 瑠郁, 竹中彰治, 野杵由一郎: in situ デンタルバイオフィームモデルを用いた宿主-バイオフィーム間相互作用の解明. 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会, 千葉, 2023 年 8 月 26 日, 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会講演抄録集 28 頁, 2023
- 7) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 竹中彰治, 枝並直樹, 庭野和明, 野杵由一郎: 歯髄再生療法モデルラットを用いた歯根成長段階による治癒形態の比較解析, 日本歯科保存学会 2023 年度春季大会 (第 158 回), 松江, 2023 年 6 月 22 日~6 月 23 日, 2023 年度春季大会 (第 158 回) プログラムおよび講演抄録集: 31 頁, 2023.

【受賞】

- 1) 高橋竜平: in situ デンタルバイオフィームモデルを用いた宿主-バイオフィーム間相互作用の解明. 第 4 回日本バイオフィーム学会トラベルアワード, 第 37 回日本バイオフィーム学会学術集会, 2023 年 8 月 26 日.

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 大島邦子: 発達期における障害児者の摂食機能療法の手引き, (日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会), 16-17, 39-42 頁, 東京, 2024.
- 2) 大島邦子: 障害者歯科診療における行動調整ガイドライン (日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会), 49-76 頁, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Early revascularization activates quiescent dental pulp stem cells following tooth replantation in mice. Regenerative Therapy 24:582-591,

2023.

- 2) Hozawa M, Nakamura Y, Sotome T, Nakajima T, Hanasaki M, Sasakawa Y, Tsukuno S, Yonemoto Y, Hayasaki H: Evaluation of oral function using a composite sensor during maximum lip closure and swallowing in normal children and adults. J Oral Rehabil Online ahead of print, 2024.
- 3) 吉田歩未, 中村由紀, 大島邦子, 中島 努, 笹川祐輝, 濃野 要, 早崎 治明: 定期的歯科介入が行われている施設利用知的障害者の支援必要度と口腔保健支援状況との関連性. 口腔衛生会誌 73(4), 260-269 頁, 2023.
- 4) 野上有紀子, 中村由紀, 五月女哲也, 清川裕貴, 朴沢美生, 築野沙絵子, 笹川祐輝, 鈴木絢子, 花崎美華, 中島 努, 大島邦子, 齊藤一誠, 岩瀬陽子, 早崎治明: 一時保護所に保護中の虐待児童の歯種別う蝕罹患状況に関する報告. 障歯誌 44:10-18 頁, 2023.

【商業誌】

- 1) 中村由紀: 第1章 患児・保護者とのコミュニケーション Q&A Q2. デンタルダイヤモンド増刊号 子どものお口の発達段階別で答える小児歯科のQ&A27 (浜野美幸 他編), 16-19 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 松原まなみ, 早崎治明, 中村由紀: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10901, 2023.
- 2) 笹川祐輝: 摂食指導・支援の客観的指標確立に向けた小児捕食機能の特徴解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17226, 2023.
- 3) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2023.
- 4) 中村由紀: 離乳期以降の摂食機能発達プロセスを口腔の圧形成メカニズムの変移から解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10267, 2023.
- 5) 朴沢美生: 複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19683, 2023.

【学会発表】

- 1) Mio Hozawa, Hanasaki Mika, Nakamura Yuki, Nakajima Tsutomu, Sotome Tetsuya, Yonemoto Yuki, Sasakawa

Yuki, Tsukuno Saeko, Hayasaki Haruaki: Three-dimensional analysis of ingestion with the spoon and head in children. KAPD 2023, Seoul, the Republic of Korea, April 29-30, Abstracts of the 64th Annual Meeting of the Korean Academy of Pediatric Dentistry: 46, 2023.

- 2) Nakamura Y, Nogami Y, Iwase Y, Saitoh I, Hayasaki H: Prevalence of dental caries in children during temporary custody according to types of abuse. IAPD 2023 June 14-17, Maastricht, the Netherlands, International Journal of Paediatric Dentistry 33(S1): 106-107, 2023.
- 3) Sotome T, Nakajima T, Nakamura Y, Hanasaki M, Sasakawa Y, Tsukuno S, Hozawa M, Yonemoto Y, Sano T, Hayasaki H: Spoon movements during ingestion differ from the children and adults. IAPD 2023 June 14-17, Maastricht, the Netherlands, International Journal of Paediatric Dentistry 33(S1): 149, 2023.
- 4) 腰越佐和子, 中島 努, 花崎美華, 中村由紀, 五月女哲也, 米本裕貴, 笹川祐輝, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 小児と成人の捕食は異なる - スプーンと頭部の協調 -. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 117 頁, 2023.
- 5) 中島 努, 米本裕貴, 花崎美華, 五月女哲也, 中村由紀, 笹川祐輝, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 摂食先行期に関する研究 小児と成人における食具操作と開口動作. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 122 頁, 2023.
- 6) 中村由紀, 朴沢美生, 五月女哲也, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 米本裕貴, 早崎治明: 複合センサーを用いた嚥下時の小児口唇閉鎖機能の評価. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 149 頁, 2023.
- 7) Yuki Yonemoto, Tsutomu Nakajima, Yuki Namkamura, Haruaki Hayasaki: Characteristic of children scooping rice from a rice bowl. 第 61 回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023 年 5 月 18-19 日, 小児歯誌, 61(大会抄録号): 270 頁, 2023.
- 8) 中島 努, 中村由紀, 花崎美華, 笹川祐輝, 五月女哲也, 朴沢美生, 築野沙絵子, 早崎治明: 「食べる」を科学する-小児歯科医の視点から-. 第 11 回日本食育学会, 北海道, 2023 年 6 月 10-11 日. 2023.
- 9) 佐野拓人, 大島邦子, Angela Quispe-Salcedo, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス臼歯再植後の早期血行回復は歯髄静的幹細胞を賦活化する. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023 年 9 月 16-

18 日, Journal of Oral Biosciences Supplement 2022 : 239-239, 2023.

- 10) 築野沙絵子, 中村由紀, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 朴沢美生, 五月女哲也, 米本裕貴, 早崎治明: 捕食時の呼吸相および呼吸サイクル時間の検討. 第 42 回日本小児歯科学会中部地方会, 岐阜, 2023 年 9 月 17 日, 小児歯科学雑誌 62(地方会抄録号): 33 頁, 2024.
- 11) 草塩奈央, 中村由紀, 高野聖真, 米本裕貴, 早崎治明: 一時保護中の児童の口腔内状況と虐待種別との関連. 第 41 回日本小児歯科学会北日本地方会, 郡山, 2023 年 10 月 8 日, 小児歯科学雑誌 62(地方会抄録号): 10-11 頁, 2024.

生体歯科補綴学分野

【著 書】

- 1) 魚島勝美, 加来賢: 歯根膜のメカノバイオロジー. 新・力を診る 臨床と研究の接点, 70-75 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Iwama H, Kaku M, Thant L, Mizukoshi M, Arai M, Ono Y, Kitami K, Saito I, Uoshima K: Acellular Extrinsic Fiber Cementum Is Invariably Present in the Superficial Layer of Apical Cementum in Mouse Molar. J Histochem Cytochem. 2024 Feb; 72(2): 109-120, 2024.
- 2) Liang L, Nagasawa M, Ha V, Lin A, Akiba Y, Akiba N, Yamakami SA, Uoshima K, Ohya H: Association between gender and self-assessment skills amongst Japanese dental students. Journal of Dental Sciences. 2024 Jan 29, 1-7, 2024.
- 3) Norimasa T, Yujin A, Keito M, Mitsugu K, Hiroshi O: Effect of Silicon Carbide Fiber Length on the Flexural Strength and Flexural Modulus of Short Silicon Carbide Fiber-Reinforced Resin. Journal of functional biomaterials. 2024 Jan 26, 15(2): 30, 2024.
- 4) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakiyama Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. Sci Rep. 2024 Jan 3; 14(1): 354, 2024.
- 5) Hashimoto M, Takahashi H, Tabata-Okubo K, Nagaoka N, Tokunaga K, Matsumori H, Ishihara Y, Kaku M, Iimura T, Hara T, Kamioka H: Bundling of collagen fibrils influences osteocyte network formation during bone

modeling. Sci Rep. 2023 Dec 12; 13(1): 22028, 2023.

- 6) Arai M, Kaku M, Thant L, Kitami M, Ono Y, Dobashi A, Iwama H, Mizukoshi M, Kitami K, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells. Biochem Biophys Res Commun. 2023 Dec 6; 692: 149364, 2023.
- 7) Suliman M, Nagasawa M, Al-Omari FA, Uoshima K: The effects of collagen cross-link deficiency on osseointegration process of pure titanium implants. J Prosthodont Res. 2023 Oct 5; 1-7, 2023.
- 8) 秋葉奈美: 缺損咬合を伴う過蓋咬合に対して可撤性部分床義歯により咬合再構成を行った症例. 日本補綴歯科学会誌 16(1): 115-118, 2024.
- 9) 江口香里: 異常咬合反射の患者に対して大連結子の位置に配慮して上顎部分床義歯を適用した症例. 日本補綴歯科学会誌 16(1): 75-78, 2024.
- 10) 金谷貢, 青柳裕仁, 高昇将, 三井田慶斗, 泉健次: コンピュータシステム活用法としての戦略的情報システムの事例. 日本歯科医学会連合雑誌 2: 58-63, 2023.
- 11) 秋葉陽介, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンによる生物学的反応制御—特集 バイオマテリアル研究を担う若手研究者たち(3). バイオマテリアル-生体材料- 41(2): 158-161, 2023.

【商業誌】

- 1) 加来賢, 魚島勝美: 歯根膜由来細胞シートにおける細胞外マトリックス. 歯根膜由来細胞シートによる歯周組織再生治療. Precision Medicine. 2024 年 1 月号: 第 7 巻 1 号, 51-54, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 移植骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20H03876, 2023.
- 2) 加来賢, 魚島勝美, 北見公平, 柿原嘉人, 松本雅記: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03127, 2023.
- 3) 加来賢, 奥田修二郎: 細胞追跡法と遺伝子ネットワーク解析による幹細胞の分化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19895, 2023.
- 4) 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂, 水野潤, 泉健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科